

山行報告書

作成:2007年5月5日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	美濃禪定道(石徹白~別山)	目的[方法]	残雪の白山展望
期間	2007年5月2日(水)~4日(金)	形態	テント携行避難小屋泊
参加人数	3人		

行動記録:

5/2(水)

岩津市民C(2055)=0:10=豊田東IC(2105)=0:55=美濃JCT(2200)=0:30=白鳥IC(2230)[¥3,400]=0:05=マルK(2235,2245)=0:20=桧峠(2305)=0:13=上在所(2318)=0:17=石徹白登山口(2335)TS1 就寝(0:15)

5/3(木) 快晴, 微風, 4 @登山口, 夜一時雨

起床(4:30) TS1(545)-0:12-石徹白の杉(557)-2:23-神鳩ノ宮避難小屋(820,840)-0:55[アイゼン装着]-母御石(935,945)-0:25-銚子ヶ峰(1010,1036)-1:16-一ノ峰(1152,1203)-1:35-銚子ヶ峰(1338)-0:17-母御石(1355)-0:20-神鳩ノ宮避難小屋(1415)TS2 就寝(19:00)

5/4(金) 快晴, 微風, 4 @銚子ヶ峰

起床(4:00) TS2(545)-0:40-母御石(625,630)-0:21-銚子ヶ峰(651,655)-1:03-一ノ峰(758,817)-0:40-二ノ峰(857,911)-0:44-打波ノ頭(955)-0:18-三ノ峰(1013,1109)-0:06-三ノ峰避難小屋(1115)-0:32-二ノ峰(1147)-0:25-一ノ峰(1212,1225)-1:00-銚子ヶ峰(1325)-0:20-母御石(1345)-0:12-神鳩ノ宮避難小屋(1357,1450)-1:20-石徹白の杉(1610)-0:10-石徹白登山口(1620,1636)=0:34=満天の湯(1710,1820)=0:55=郡上八幡IC(1915)=0:35[渋滞]=美濃JCT(1950)=0:48=豊田東IC(2038)[¥1,550]=0:17=岩津市民C(2055)

概念図:



2.5万図: 願教寺山, 二ノ峰, 下山, 石徹白

20万図: 金沢, 岐阜

日誌:

5/2 3時間弱で、石徹白登山口の駐車場に着く。1台も車がなく独占状態で、東屋の下にテントを立て、一杯飲んだ後、月夜の中、休む。

5/3 4時30分起床。出発の準備をしていると、次々と登山者の車がやってきた。420段の階段を登ると樹齢1800年の大杉。おたけり坂を過ぎると、雪原が多くなる。対岸の願教寺山から野伏までの山並みがよく見えてくる。出発から2時間30分ほどで、神鳩ノ宮避難小屋に着く。母御石の上りでアイゼンを装着する。銚子ヶ峰までの雪道を登るのが苦しく、同時に眠気を催す。一ノ峰の上りで両腿つってしまい、歩行困難となる。三ノ峰までの目的地へ行けず、神鳩ノ宮避難小屋に引き返す。(少し朦朧としていたが無事戻る。)

小屋は、二組の夫婦と一緒にいるが、名古屋の山好き夫婦と仲良くなる。ビールを飲み、お好み焼きの夕食を食べ、元気を取り戻す。7時就寝。深夜の雨音に驚くが、朝には天気は回復。

5/4 4時起床。私の体調を窺いながら三ノ峰まで再挑戦することになった。よく眠れたこと、荷物が軽くなったためか、問題なく歩けるようになった。天候も視界も良く、春の優しい日ざしの中、順々に五つの峰を踏破していく。三ノ峰では、別山と背後の白山を前にして、温かいコーヒーを飲みながら、景色を満喫することができた。雪の斜面を降下する気持ちのよさ。コブシの花をながめながら順調に下山することができた。満天の湯に入り、ざる蕎麦をいただき、午後9時前に岩津に着くことができた。

感想: 目的地の別山まで行くことができなかったが、三ノ峰まで行くことができ春山を楽しむことができた。二人には、大変迷惑をかけてしまった。雪原の歩く場所の取り方や学ぶことも多かった。自己反省点が数多くある。今後に生かしていきたい。